



日本声楽発声学会

第101回 例会

2015年(平成27年)5月31日(日)
10:00~16:30
(受付9:30より)

東京藝術大学 第6ホール

第101回例会、第51回総会 ご案内

会長 末 芳枝

2015年5月31日(日)第101回例会、第51回総会を開催致します。

当学会設立51年目の新しい歩み第一歩です。世界中の音楽界の動向を見つめ、当学会も新しい発見と発展を目指したいと思います。会員の皆様の研究発表の場として、又、知識を吸収する場として活動致して参りたいと思います。

会員の皆様、どうぞご協力をお願い致します。

プログラム

開会の辞

会長 末 芳枝 10:00~10:05

A 研究発表

司会 副会長 小川昌文 10:05~11:35(含質疑応答)

- ① 「水野康孝の生涯と新制大学における声楽教育の萌芽」 10:05~
 ~岡山大学教育学部を事例として~

鈴木慎一郎 (鳥取大学准教授・博士(学校教育学)・本学会理事)

- ② 「歯科としてのお役立ち情報」 10:35~
 ~歯科に関するアンケートを踏まえて~

神林 恭 (歯科医師・本学会会員)

- ③ 「声楽感覚を科学で証明」 11:05~
 ~これまで証明できなかった声楽家独特の発声感覚を、共鳴腔の可視化により科学的に証明する~

河合孝夫 (河合孝夫音楽研究所所長・本学会理事)

B 総会 (第51回総会)

11:45~12:10

— 昼食休憩 —

12:10~13:15

C 特別講演

司会 副会長 川上勝功

13:15~15:15

「アンサンブルの為の発声法と純正のハーモニーの作り方」

講師：フリーダー・ベルニウス Frieder Bernius

(シュトゥットガルト室内合唱団指揮者)

通訳：安保洋子

モデル合唱団：ヴォーカルアンサンブル・ヴィクトリア&合唱団お江戸コラリアーズ

Combinir di Corista

13:15~14:15

① ヴォーカルアンサンブル・ヴィクトリア&合唱団お江戸コラリアーズ

指揮：川上勝功

Felix Mendelssohn : Denn er hat seinen Engeln befohlen

14:15~15:15

② Combinir di Corista

指揮：松村 努

Felix Mendelssohn : Auf dem See

フリーダー・ベルニウス シュトゥットガルト室内合奏団、シュトゥットガルト・バロック・オーケストラ、シュトゥットガルト・クラシック交響楽団、シュトゥットガルト・コート・チャペル等を過去30年にわたり結成。現在、それらはムジク・ポディウム・シュトゥットガルトの名で、ひとつの団体に結合されている。フリーダー・ベルニウスは年間を通して、これらのアンサンブルとの音楽プロジェクトに関わるかわら、プレーメン室内交響楽団やボーゼン弦楽アカデミー、ワールド・ユース・クワイアなどと定期的に活動している。レパートリーは大変広く、ゼレンカ、バッハ、ヘンデルなどのバロック声楽音楽から、メンデルスゾーンなどのロマン派作品やリゲティまで、それぞれの分野の演奏に優れた手腕を見せ、合唱を中心とした多様な活動で、現在世界で最も優れた指揮者の一人として高く評価されている。また、ヨーロッパ各地や北米、イスラエル、アジアなどの国際音楽祭に招かれるほか、多数のレコーディング実績がある。

D 現役声楽家の演奏とお話

司会 会長 末 芳枝 15:30~16:30

大野徹也 (テノール)

小田直弥 (ピアノ)

曲目

Ilpoveretto	哀れな男	G.Verdi
Stornello	ストルネッロ	G.Verdi
Ideale	理想の人	F.P.Tosti
L'ultima canzone	最後の歌	F.P.Tosti
'A vucchella	かわいい口もと	F.P.Tosti
Non t'amo più	もう君を愛さない	F.P.Tosti
	かやの木山	山田 耕笹
	鴉	信時 潔
	木兎	中田 喜直
Che farò senza Euridice	エウリディーチェを失って	
	“Orfeo ed Euridice” 「オルフェオとエウリディーチェ」	C.W.Gluck
Svegliatevi nel core	心によびさませ	
	“Giulio Cesare” 「ジュリアス・シーザー」より	G.F.Händel
Nessun dorma	誰も寝てはならぬ “TURANDOT” 「トゥーランドット」より	G.Puccini

プロフィール 1953年北九州市生れ。1980年東京芸術大学大学院修了。福嶋敬晃氏、故渡邊高之助氏、故三村祥子女史、カルロ・ベルゴンツィ氏に師事。また、ウィーンへ留学し、アレキサンダー・コロ氏の下、研鑽を重ねる。81年第16回民音コンクール第2位、82年第1回飯塚新人音楽コンクールグランプリ受賞。ウィーンへ留学し、アレキサンダー・コロ氏の下、研鑽を重ねる。77年二期会研究生時代に「魔笛」の武士でオペラデビュー。「カーチャ・カバノヴァ」ボリス、日本初演「ジークフリート」題名役を歌い大成功をおさめる。また「ワールキューレ」ジークムント、「タンホイザー」題名役でワグナー歌手としての地位を不動のものとする。当り役「カルメン」ドン・ホセ、「サムソンとデリラ」サムソンをはじめ、「椿姫」アルフレード、「蝶々夫人」ピンカートン、「魔笛」タミーノ、「皇帝ティトの慈悲」題名役等を歌い、常に第一線でプリモテノールとして、活躍を続けている。二期会会員。東京学芸大学教授。日本声楽アカデミー会員。ぐるーぷ・なーべ各会員。

閉会の辞

副会長 小川昌文